

館報



11月号

やまがた

No. 775

令和2年
(2020年)

優しい眼差しで書道を教える尚子さん。生徒さんに、「どんな先生か尋ねると」「優しく教えてくれる」とのこと。教範の資格を得てから15年以上になるベテランで、数々の受賞歴を持つ書の達人だ。書道を始めたきっかけを尋ねると「ちよっと書くときに筆できれいに書けるといいでしょ」と微笑みながら話してくれた。

(11月11日 書道教室にて)



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

働姿
シリーズ

継続は力なり

塩原 尚子さん(中大池)

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ（こちらの二次元コードから）でも見ることができます→



教育委員会からのお願い

子どもたちの通学時間帯での農業散布についてはご配慮をお願いします。



10月28日(水)、山形村通学路安全推進会議が行われました。小・中学校PTAから出された5つの危険箇所を視察して、松本警察署や関係機関の意見を聞きながら、改善出来るかどうかを協議しました。日頃から子どもたちに注意喚起することはもちろんですが、車を運転する私たちが通勤通学時は、特に歩行者・自転車に注意し、余裕を持った運転を心掛けていきたいと思いますね。

通学路の点検をしました

11月7日(土)、トレーニングセンター玄関前で『キッチン和っこ』によるおやきの配布が行われ、多くの子どもたちが作りたてのおやきを受け取っていきましました。おやきと一緒に配られたメモにはレシピや起源が記されているので、興味が湧いたらご家庭で作ってみてほしいと思います。また有志の農家さんからいただいた野菜や果物の配布も行われ、こちらも多くのご家族に好評でした。

キッチン和っこ

トイレ改修工事順調です

トレーニングセンター、ミラ・フード館のトイレ工事は順調に進んでいます。トレーニングセンターは、11月上旬までコンクリートを壊す作業を行い、今後はモルタル打設・配線作業などを進めます。ミラ・フード館は、12月上旬には1階の工事が完了する見込みです。



各施設、来年2月中には順次利用開始の見込みとなりますので、引き続きご協力をお願いします。

『キッチン和っこ』は食育として小学生・中学生を対象と一緒に食事を作って食べるという活動を行っています。

山形村消防団不時呼集

11月9日(月)、山形村消防団不時呼集が行われました。不時呼集とはいざという緊急時にサイレンの音をもとに集まる訓練で、早朝6時前に招集がかかり集合しました。また、毎年この日から秋の全国火災予防運動が始まり、夜間巡回を通じ、火災予防意識の一層の普及を図りました。



現在、協定を結んでいる企業・団体は次の通り

生活協同組合コープながの/JA松本ハイランド山形支所/山形村商工会/信濃毎日新聞松本専売所/松本信用金庫波田支店山形出張所/ザ・ビッグ山形店/山形郵便局、松本南郵便局/かねなか農家の店とまと/セブンイレブン信州山形店/山形村食生活改善推進協議会/ファミリーマート新山形グリーンロード店/ファミリーマート信州山形店 (2020年11月18日現在)

『いちいくらしネットワーク』の協定を締結しました

『いちいくらしネットワーク』とは、高齢者の見守りや徘徊などの異常発見時に早期対応を目的とした仕組みです。日常業務において高齢者と接する機会が多い民間事業者や団体に対して村が協定を結び、個人情報保護に配慮しつつ、助けを必要とする人が放置されないように情報が提供されます。また、協定を結んだ企業・団体が継続的に利用され、安定して存続する効果も期待されています。

山すそ

映画「鬼滅の刃」が大変なことになっている。興行収入が10日間で100億円を突破、これからまだまだ記録を伸ばすに違いない▼と、すごいことは分かったが実際まだ見えてはいない、流行に乗ろうと某定額制の動画媒体でアニメを見、原作漫画を見て、これは結構面白いなあと感じた。世間では小さな子どもから大人まで凄くハマっている▼個人的な感想は勧善懲悪(正義が悪をたつ)多勢が分かりやすくしつくりくるストーリーだと思ふ。世界中で話題になり子どももコスプレをしたりとコロナ禍の中でも世間に輝きが復活した▼しかし某広告で観た方もいると思うが「僕のお父さんは桃太郎という男に殺されました」シヨッキングな言葉だが、たしかに鬼の子どもからすれば桃太郎は親の仇になつてしまう。現在コロナウイルスを危惧しなければいけない異様な生活の中でも犯罪(悪いこと)が絶えない世界で「鬼滅の刃」を見て少しでもなにかを感じたり、自分の周りにいる子どもから大人まで善悪を教えられる人になれるように全集中したい。

芸能部門の写真は、テレビ松本さんより提供いただきました。

山形村民話クラブ「灯」



こどもコーラスTanpopo



芸能部門
～YCS放送～
11月16日(月)～11月22日(日)



山形村音楽クラブ

クレヨンママ



山形小学校金管バンド



彌磨太鼓



鉢盛中学校合唱部

ちっちゃな発表会

今年の文化祭は新型コロナ流行を考慮して、芸能部門はYCSでのテレビ放送となり、展示部門は密を避けるため開催期間を長くして行われました。例年とは違う形ですが、活動の成果を発表する良い機会となりました。

ピアやまがた



ふるさとプロジェクト

展示部門

～トレセン玄関ホールにて～
10月31日(土)～11月5日(木)

山形保育園



永田廣志研究会



レインボークラブ

山形小学校わくわくクラブ



山形村図書館リサイクルブック



やまのこ保育園



山形小学校6年生書道作品

10月16日(金)、山形小学校運動会が行われました。今年も新型コロナウイルスの影響で2学年ごとに時間を区切って児童・保護者が密にならない配慮の中、開催されました。

当日はとても肌寒い一日でしたが、児童からは緊張感とやる気に満ちた熱い眼差しで寒さを吹き飛ばす山つこパワ―を感じました。

練習時間があまり取れない中、多彩な演目を披露してくれた児童からは成長を感じ、今年も素晴らしい運動会になりました。

山形小学校運動会



10月17日(土)、やまのこ保育園運動会が行われました。台風のため1週間延期となったこの日もあいにくの雨に見舞われ、園舎の中での開催となりました。

リズム運動と高所や斜面を昇り降りする障害物種目が始まると思惑的に前に出て行く園児たち。その姿に胸が熱くなる様な逞しきを感じます。

岩岡きく江園長は、「雨や新型コロナウイルスの影響はあったが、園児たちはのびのびと活動できていた」と笑顔で喜びを語ってくれました。

やまのこ保育園運動会



小学校2年生 生活科遠足

10月30日(金)、松本市街地に行つて来ました。小学校前のバス停から路線バスに乗り、松本バスターミナルに到着後、徒歩であがたの森を目指し、後日山形村と比べる学習をするため街をよく観察し、あがたの森では遊具で遊んだり亀や鯉を見たりして楽しみました。バスの正しい利用の仕方、方も身につけ、とても良い遠足となりました。



やまのこ保育園おたけび

10月25日(日)、おさんぽ会が行われました。未就園児の家庭向けに在園児の家庭との情報交換の場として企画され、園内外の親子16名が参加しました。のびのびと広がる草原の中でバッタやイナゴを捕まえたたり、地元の方が作った木製の遊具に大はしゃぎする子どもたち。帰り道では互いに手をつなぎ合い、すっきり仲良しの様子でした。

小学校4年生 社会科見学

11月5日(木)、山形消防署・サンクスBB・ウォーターパークを見学しました。山形消防署では消防車の仕組みや装備を詳しく説明してもらい、救急車に乗ることもできました。



サンクスBBでは不燃物の搬入と見学時間が被り、実際の様子を間近で見学できませんでした。また埋め立てスペースがあと少しになつてきていることを知った児童たち。改めてゴミの出し方について考えさせられました。ウォーターパークでは汚水が微生物によつてどんどん浄化され、綺麗になつた水が川に流される様子を見学し、水を大切に使うと感じました。

参加した父母からは「自然に触れて気持ち良かった。実際に通つている家庭の話聞いて参考になつた」と大満足な笑顔で話してくれました。



山形保育園焼き芋会 たくさんお芋食べたよ!

11月13日(金)、焼き芋会が行われました。今回使用したさつまいもはJA松本ハイルランド山形支所・農家組合の協力により、植え付け・収穫した紅はるかです。午前中からじつくり時間をかけて焼き上げた焼き芋は甘く、とろとろです。園児たちはとても良い笑顔で嬉しそうにほおぼつていました。



▲10月20日(火)収穫
JA山形支所・農家組合の方と協力して、さつまいもを収穫しました。いっぱい獲れたよ!!

なるう原公園・八幡神社で薪を拾いました。急な斜面もへっちゃら♪

▼10月28日(水)薪拾い



11月13日(金)焼き芋会



中学校3年生 修学旅行

10月12日(月)・13日(火)、中学校3年生が修学旅行に行ってきました。本来であれば今年の2月(2学年時)に予定されていたのですが、出発する直前にコロナ禍のため延期となっていました。行き先も京都から県内へ変更を余儀なくされ、さらに直前まで台風の進路も心配されましたが、無事出発することができました。

1日目の午前中、黒部ダムを見学。目の前に広がる大自然と人工物が融合した風景に圧倒されました。事前学習で学んだ、ダム建設時に立ち回らなかったいくつかの困難に立ち向かった当時の人々に思いをはせ、感動の歓声があちこちから湧き上がっていました。



午後はグループに分かれて体験活動をしました。体を動かしたり、作品を製作したり、普段の生活から離れ、大自然の中での友だちと語り合う表情はいつも以上に明るいものでした。

2日目は久々に制服に身を包み、小布施の街を班ごとに散策しました。自分たちで行動細案を確認しながら自主的に行動したり、お互いに気遣ったりする姿が見受けられました。

地元長野県のすばらしさを再発見することができ、今年だったからこそ体験することができた思い出に残る修学旅行となりました。

中学校1年生 野外学習

10月12日(月)、朝日村野又沢林間キャンプ場で野外学習を行いました。10月中旬のキャンプ場は少し肌寒だったのですが恵まれた天候の中で実施することができました。

午前中は、クラスごとに散策やレクリエーションを楽しみました。午後は、クラスの枠を超えて、『羊毛フェルト』『河原で石積み』などの講座

に分かれて、大自然の中で気持ちよく活動をしました。普段なかなか係われない仲間との貴重な時間はとても新鮮なものでした。

一日を振り返って「新しい友だちとたくさん話せた」「大自然

中学校合唱交歓会

10月27日(火)、白峰祭で実施出来なかったクラス合唱を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としてきた授業参観で発表しました。

体育館での発表は学年ごとに入れ替え、発表していない学年は各教室のテレビで他学年の発表を視聴しました。生徒

然がすごかった「外で何かやるということができてうれしかった。班で川遊びをしたりみんなでご飯を食べたり、とても楽しかった。」「楽しい思い出ができた」といった感想をたくさん聞きました。コロナ禍でいろいろなことを変更しなくてはならない生活が続いていましたが、学年やクラスの絆を深めることのできた素晴らしい一日となりました。



たちはコロナ禍の中でクラスごと練習した成果を発表でき、保護者の皆さんは昨年より成長した姿を見ることが出来る良い時間になったのではないのでしょうか。



Yふるやまコンニャー

10月18日(日)、ミラ・フード館2階ホール・ミラにてYふるさとレンジャーの活動が行われ、前回調査した7本の樹木(村指定天然記念物)に添える標識のデザインについて意見が交わされました。集まったアイディアは長野美術専門学校の先生・学生の皆さんが集約して最終デザインに落とし込む予定です。結果は本誌で紹介いたしますので、楽しみにお待ちください。



お知らせ

館報では、大会などで好成绩を残した方を出来るだけ紹介したいと考えております。連絡頂ければ、編集部が取材にお伺いします。自薦他薦は問いません。お気軽にご連絡ください。公民館 ☎ 98-3155 まで



生き生き活動記

きのご狩り10月13日(火)

今年も清水高原を散策してきました。昨年はどんなに探してもきのこが見つからず、スパーで調達してきのごどんを作りましたが、今年はずいぶん散策して1時間程度で散策で豊作まではいきませんが、きのこがいつぱい入ったきのこどんを作ることができました。



バスハイク@大鹿村10月27日(火)

大鹿歌 舞伎と大

断層「中央構造線」を学びに大鹿村へ行ってきました。大鹿村までの道中、リニア中央新幹線の準備工事の現場を通りがかり、多くのダンパーとすれ違い、工事が進んでいることを実感しました。大鹿歌舞伎は平成29年に国の重要無形民俗文化財に指定され、村民が大切に後世に繋いでいることを知りました。その後、中央構造線博物館を見学しプレートが移動して日本列島が隆起したことや、村内を断層が南北に通っている状況について学ぶことができました。



レザークラフト講座

11月5日(木)、トレニングセンター食堂にてレザークラフト講座が行われました。講師は元朝日村地域おこし協力隊の大久保正晃さんです。昨年度好評につき2回目の講座開講(全5回)となりました。8名の参加者が講師の指導のもと、キーホルダー・小物入れ・カバンの製作に臨みました。革選びから始まり型を書いて型抜きなど専用の道具を用いて、世界に一つだけの作品を作り上げました。



おやし塾活動記録

～収穫～



蕎麦収穫!!

8月号より随時お伝えしてきました蕎麦プロジェクトですが、11月6日(金)、ついに収穫の時を迎えました。10月中旬より気温がグッと冷え込み、予定より早めの収穫となりました。機械の力を借りずに手作業で刈り取り、束ねて天日乾燥させました。

～脱穀～

蕎麦プロジェクト～ついに収穫の時を迎えました～

11月10日(火)、天日乾燥によって蕎麦の水分量が脱穀に適した14～16%になりました。脱穀作業も機械は使いません。木の棒を使ってひたすら叩きます。手作業もここまで。蕎麦の実の選別には唐箕(とうき)を使って作業しました。次回は、石臼を使ってソバ粉にする予定です。12月には、蕎麦打ち体験を行う予定です。



バードウォッチング講座

11月8日(日)、『信州野鳥の会』の植松晃岳会長と会員の務臺明さん(上大池)を講師に、なろう原公園にてバードウォッチング講座が行われました。子どもや未経験の参加者も多く、ゆつくりとしたペースで遊歩道を周り、植松会長のユーモア溢れる鳥や植物の話に引き込まれていました。渡り鳥も含め全部で23種の鳥を確認し、参加者からは「普段見ない珍しい鳥も見られた」との声も聞かれました。植松会長から「山形村は多くの生き物たちが集まる豊かな里山がある」と講評を頂き、村の魅力を再認識する機会にもなりました。



風

(敬称略)

おめでた(子・親)

- 加藤 楓葵・和弘
- 丸山 奈歩・直樹
- 赤羽みゆう・圭介
- 松本 悠準・裕美
- 中村 幸子・上大池
- 中川 畑夫・小坂
- 神通川今朝美・上竹田
- 原 千枝子・小坂
- 上條 房夫・中大池
- 中村やすみ・下竹田
- 加藤 玲奈・上竹田
- 丸山 敦子・上竹田
- 赤羽みゆう・下竹田
- 松本 友和・上竹田
- 中村 幸子・上大池
- 中川 畑夫・小坂
- 神通川今朝美・上竹田
- 原 千枝子・小坂
- 上條 房夫・中大池
- 中村やすみ・下竹田

山形小学校へ お米が贈呈されました

10月28日(水)、黒川堰の水を使った水田で育ったお米(コシヒカリ)60kgを黒川堰土地改良区理事長の上條重幸さん(上竹田)から、山形小学校へ贈呈されました。

山形小学校では以前より、ふるさと学習の一環で黒川堰の歴史について学んでおり、上條さんが黒川堰の歴史やお米の栽培について児童へ伝える機会がありました。その中で実際に黒川堰の水で育ったお米を食べてほしいという想

いから今回の贈呈となりました。贈呈されたお米は給食2日分になり、受け取った柳生さよ美校長は感謝を述べ、「児童には黒川の水を水田へ通水する苦労や歴史を思い浮かべながら味わって食べてほしい」と話していました。



黒川堰って何？

黒川堰とは松本市波田から山形村まで流れる灌漑(農業用)の人工河川のことです。両地区とも水資源が乏しく水田を開田するために幾多の難工事を乗り越えて1893年(明治26年)に通水されました。先人たちの苦労があったからこそ今の美しい山形村の田園風景があります。

黒川堰の詳しい資料は、書籍の他、山形村民話クラブで作成した紙芝居、明治150年を記念して作成されたDVDがあります。山形村図書館で貸出していますので、この機会にぜひ黒川堰の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



松本山雅FCを応援します！ パブリックビューイング inミラ・フード館

11月8日(日)、松本山雅FC主催のパブリックビューイングが行われ、事前に予約した50名の村民サポーターがミラ・フード館へ集結しました。試合前には、山雅スタッフと参加者のトークセッションが行われ、山雅スタッフからは「山形村はアルウィンにとっても近いホームタウンなのでぜひ皆で応援に来て欲しい」参加者からは「子どもも楽しめるイベントもたくさん企画して欲しい」など意見が交わされました。その後、山雅ホームタウン担当の片山真人さんから試合の見どころ解説があり、いよいよ試合観戦になると皆で緑色のペンライトを振って奮闘する選手たちを応援し、大いに盛り上がりました。

～試合結果～ 松本山雅FC1-0アビスパ福岡



みんなの人権 ⑧

“トイレに「きれいな女神様が住むトイレ」が出現する!?”

～「トイレのユニバーサル化」と人権～



◇過日、コロナ禍の巣こもり生活を逃れて、近くの信州スカイパークにウォーキングに出かけました。その公園の多目的(多機能)トイレを利用した時のこと。おなじみの「男女共用・身体障がい者や高齢者・子ども連れ」対応のマークに加えて、「お腹に十字のバンソウコウをつけたようなマーク」が目にとまりました。◇このトイレマークは、手術などでお腹に人工肛門や人工膀胱などの「排泄口」を着けている「オストメイト」向け設備も整ったトイレであることを表わしています。改修された信州スカイパークの多目的トイレは、腰丈に鏡まで設置された真新しいオストメイト向け設備になっていました。トイレも急速に「ユニバーサルデザイン化」が進んでいることを実感しました。◇ここ数年、新幹線や近くのスーパーマーケットなど、様ざまなところで目にするおなじみのマークになった「オストメイトマーク」ですが、外見からは障がいの見えにくいオストメイトへの理解は進んでいるとは言えない現状があります。昨今は、このような内部障がい者への理解を深める啓発活動も盛んに行われるようになりました。◇4年前の2016年に「障害者差別解消法」が施行されて、役所や学校・企業など、公共の場のバリアフリー化について、きめ細かい配慮をすることが義務づけられました。急激な高齢化や相次ぐ異常気象・感染症などへの危機対応が迫られるなか、障がいのある人への配慮は、老若男女誰もが安心して暮らせる「ユニバーサル社会」を構築する基本でもあります。(館報「優の風景」⑩「参照」)◇今、当村でも、村内外から様ざまな人が訪れることを想定して、村トレセンなどの公共施設で「トイレのユニバーサルデザイン化」へ向けた改修工事が始まっています。折しも、11月19日は国連が定める「世界トイレの日」。来春には「きれいな女神様が住むユニバーサルトイレ」に生まれ変わることでしよう。その改修工事の様子を見ながら、トイレのみならず、フロアでの上下履きのあり方など、時代の変化に対応した、公共施設のきめ細かいバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化が必要なことを痛感するこの頃です。トイレを見る「優の風景」のひとつまででした。

(令和2年11月 M・H記)



おいしく、楽しく、健康に 山形村食生活改善推進協議会

『食改さん』の愛称で親しまれている山形村食生活改善推進協議会には現在14名の女性会員が所属しています。昭和59年の発足以来、健康的な食事作りや郷土料理を学び合い、地域でのボランティア活動に精力的に取り組んできました。今年度はコロナ禍で活動が減りましたが、例年では各地区の公民館で開かれる『きましょ講座』で栄養バランス満点の健康メニューの試食会や小さいお子さんと親子でのまゆ玉作りを行うほか、やしやうまなど昔懐かしいおやつを手作りし、高齢者施設へ届けています。幅広い年代の方たちとの交流の中で、「おいしかった」「楽しかった」という言葉にやりがいを感じるという食改さんたちの人柄は明るく朗らか。普段は皆で手作りの漬け物や惣菜を持ち寄り、作り方を情報交換し合うそう。おいしいものを作るとともに皆で集まり、楽しく食べることが心身の健康の源なのかもしれません。

今年の10月には人と人との繋がりを大切に、長年地域で続けてきた活動に対し、長野県知事から表彰されました。

「これからもみんなで楽しくお料理を続けていきたい。一緒に活動してくれる方も増えてほしいな」と新しい仲間を心待ちにしているそうです。お料理に自信がなくてもまずは見学から大丈夫！

連絡先
山形村食生活改善推進協議会事務局
(いちいの里内) ☎97-2100

みつ いし あず さ
三石 杏彩さん
上竹田
小5・おひつじ座



望月 雄太さん
上大池
みずがめ座

踊るの大好き!



体を動かすことが大好きな杏彩さん。小学校1年生からクラシックバレエを習っていて、9月に行われた発表会ではソロで踊ったりもしています。また、小学校の持久走大会では、毎年女子の中では学年で1位を取り続けています。「今年も中止になってしまっただけど、小学校生活最後の来年も1位を取りたい!」と、話してくれました。

おしゃれも大好きな杏彩さんの夢は、美容師になることです。たくさんの人を綺麗にしたいそうです。

サッカー熱
まだまだ上昇中!



日本サッカー協会公認のC級コーチライセンスを取得し、『指導者』の資格があればサッカーという日々を送っているそう。山形少年サッカークラブでは4年生のコーチを担当していて、熱の入った指導をしています。

「大人が子どもに答えを教えるのではなく、ヒントを与えて子ども自らが考え、答えを出せるような接し方をしています。サッカーを楽しませながら、自立した人間を育てていきたいです」と話してくれました。